



# しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

## なつ休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2019年版]

	しよめい さくしやめい しゅっぱんしや	ないよう		しよめい さくしやめい しゅっぱんしや	ないよう
えほん	<p>「おなじ月をみて」</p>  <p>ジミー・リャオ 作 天野 健太郎 訳 ブロンズ新社</p>	<p>ハンハンは、いつもまどからそとを見て、月が出るのをまっています。すると、きずついたどうぶつたちがやってきたので、こころをこめてきずの手あてをして、はげましてあげました。そして、せんそうにいったおとうさんがかえるのをまちながら、ハンハンが見ている月は…。</p>	としよ	<p>「ぞうのはなはなぜながい」</p>  <p>ラドヤード・キプリング 原作 寺村 輝夫 文 長 新太 絵 集英社</p>	<p>しりたがりやの子ゾウは、なんでもまわりのみんなにしつもんをしていましたが、みんなはうるさかってあいてにしてくれませんでした。子ゾウは、しりたいことのこたえを見つけるため、たびに出ることにしました。</p>
えほん	<p>「ぜんぶわかる!アサガオ」</p>  <p>渡邊 弘晴 著 仁田坂 英二 監修 ポプラ社</p>	<p>1200年前に日本へやってきたアサガオにはどんなしゅるいがあるのでしょうか? アサガオのそだっていくようすや、花やタネのちがいが、しゃしんとともにしょうかいされています。アサガオクイズにもちようせんしてみてね。</p>	としよ	<p>「きらきらシャワー」</p>  <p>西村 友里 作 岡田 千晶 絵 PHP研究所</p>	<p>広矢(ひろや)は、プールのおきののはげしいシャワーがこわくて、月よう日のプールのことがかんがえると、気がおもくなってしまいます。「あのつめたいシャワーのカーテンにとじこめられたらどうしよう」と思うと、いきがくるしくなって一歩もうごけなくなってしまうのです。</p>
えほん	<p>「わたしの『やめて』」</p>  <p>自由と平和のための京大有志の声明書 【こども語訳】 文 塚本 やすし 絵 朝日新聞出版</p>	<p>せんそうは、みんなのこころもからだもきずつけて、いちどはじめてしまうと、おわるのはすぐすすごくむずかしいもの…。だから、せんそうをはじめようとする人たちに大きなこえで、『やめて』というんだ!</p>	としよ	<p>「ぼく、ちきゅうかんさつたい」</p>  <p>松本 聰美 作 ひがし ちから 絵 出版ワークス</p>	<p>「ちきゅうかんさつたい」のたいいんいちごうのトモヤは、たいちょうであるおじいちゃんにはっけんしたことを、いつもほうこくしています。まわりのものをよくかんさつしたら、あたらしいことが、いっぱい見つかりました。「早く、たいちょうにほうこくしなきゃ!」</p>
えほん	<p>「おさがり」</p>  <p>くすのきしげのり さく 北村 裕花 え 東洋館出版社</p>	<p>あたらしいものをかってもらえないなっちゃん、ふくも、おもちゃも、えほんも、おねえちゃんの「おさがり」ばかりです。ふるいものさしをがっこうへもってきて、大きなためいきをついていたなっちゃんに、先生はたいせつな思い出をはなしてくれました。</p>	としよ	<p>「ハリーとうたうおとなりさん」</p>  <p>ジーン・ジオン ぶん マーガレット・ブローグレアム え 小宮 由 やく 大日本図書</p>	<p>ハリーのいえのおとなりさんは、いつも大きく高いこえでうたをうたっているの、うるさくてしかたがありません。ハリーはいろいろなことをためして、なんとかやめさせようと思いますが…。</p>
えほん	<p>「ねこのさら」</p>  <p>柳家小三治 落語「猫の皿」より 野村 たかあき 文/絵 柳家 小三治 監修 教育画劇</p>	<p>ある日のかえりみち、どうぐやがたちよったおみせで、ネコがごはんをたべていたおさらはとってもこうかなものでした。どうぐやが、おさらを手に入れようとして、おみせのしゅじんに、はなしかけますが…。</p>	としよ	<p>「あひるの手紙」</p>  <p>てがみ 朽木祥 作 ささめや ゆき 絵 佼成出版社</p>	<p>ある日、1年生のクラスに「あひる」とだけかかれたふしぎな手紙がとどきました。手紙を出した人は、どうやら、ひらがなをおぼえたばかりのようでしたが…。ある小学校へじっさいにことどいた手紙をきっかけに、つくられたおはなしです。</p>